

## 第111回産業計測制御技術委員会 議事録(案)

日時：2013年5月7日(火曜日) 14:00～17:00

会場：東京電機大学 東京千住キャンパス 4号館7階4707ゼミ室

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

### 【出席者】

#### ○ 産業計測制御技術委員会

委員長：柴田昌明(成蹊大)

一号委員：小坪成一(千葉大)、高橋一悟(香川大)、満倉靖恵(慶應大)、金子貴之(富士電機)、清水創太(東大)、田中雅人(アズビル)、笹岡英毅(アズビル)、染谷博司(東海大)、中野和司(電通大)、松井哲郎(富士電機)、石井千春(法政大)

二号委員：小田尚樹(千歳科技大)、大西義浩(愛媛大)、石亀篤司(大阪府大)、宮内秀和(産総研)

幹事：下野誠通(横国大)、五十嵐洋(東京電機大)

### 【配布資料】

110-0 前回議事録(案)

110-1 2013年1月IIC名簿

110-2 2013年度活動予定について

110-3 平成24年度第4回D部門研究調査運営委員会 議事録(案)

110-4-1-1 高度センサ応用による人・環境親和システムに関する協同研究委員会 活動報告

110-4-1-2 高度センサ応用による人・環境親和システムに関する協同研究委員会 解散報告書(案)

110-4-2 先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用に関する協同研究委員会 活動報告

110-4-3 産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク問題調査専門委員会 活動報告

110-5 2014年以降の合同研究会/ワークショップについて

### 【議事概要】

#### 0. 前回IIC 議事録(案)確認(下野幹事) 資料:IIC-111-0, IIC-111-1

下野幹事より、資料IIC-111-0に沿って前回議事録(案)の読み上げが行われ、原案の通り承認した。また、4月1日付けで1号委員に就任された石井委員よりご挨拶を頂いた。2013年5月現在の名簿について確認を行った(資料IIC-111-1)。変更点については下野幹事へメールにて連絡することとした。

#### 1. IIC委員会における役割担当 資料:IIC-111-2

1号委員の役割分担について以下の通り依頼することとした。

・見学会担当(1名)：石井委員

※ 9～10月頃にJAXA(三鷹)の見学会を実施する方向で進めることとした。日程調整についてはメールにて行うこととした。

・合同研究会 実施担当(2名)：小田委員(とりまとめ担当)、染谷委員

・フォーラム推進担当(2名)：金子委員、田中委員(現在進行中のため継続)

・論文幹事(和文誌)(2名): 高橋委員, 満倉委員 (論文委員会委員の継続)

## 2. 2013年度の技術委員会活動について(柴田委員長) 資料:IIC-111-3

### 2.1 産業応用フォーラム開催の促進・寄与

ー 宮内委員にフォーラムの開催を前向きに検討いただけるよう柴田委員長より依頼があった。

### 2.2 傘下委員会ごとの小規模な研究会開催の促進・寄与

- ー 高度センサ応用による人・環境親和システム(協) @連合研究会 9月3日予定
- ー 産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク(調): 2014年6月を目処に研究会を実施
- ー 先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用(協): 2013年12月を目処に研究会を実施

### 2.3 傘下委員会の活性化(新規参加者の増加, 後継委員会の設置)の促進・寄与

※ 柴田委員長より合同委員会の開催などにより, ぜひ委員会同士の横のつながりや交流を活性化する方向で進めてほしいとの要請があった。

### 2.4 シンポジウム, オーガナイズドセッションの企画・提案

- ー D部門開会(8月)でのシンポジウム, OS  
先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用(協), タイトル「先端制御技術の研究動向と応用事例」
  - ー 全国大会(3月)でのシンポジウム(10月締切り予定)  
産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク問題(協)(石亀委員)
- ※ 可能であれば, 次年度は宮内委員の新規委員会にお願いしたい(隔年ごと交互開催)との意見があった。

## 3. 運営委員会報告(柴田委員長) 資料:IIC-111-3

柴田委員長より2013年3月11日に実施されたD部門研究調査運営委員会の議事録に基づいて報告があった。秋に1回の見学会+委員会を実施予定であることを報告済みである。また, MECとIICの共同研究会の実施方針を今後検討することを表明している。

## 4. 委員会活動報告(2号委員)

### 4.1 高度センサ応用による人・環境親和システムに関する協同研究委員会 活動報告 (資料:IIC-111-4-1, IIC-111-4-2)

第9回委員会を3月7日にモーションコントロール委員会と合同委員会を実施し, 第10回(最終回)を2013年5月17日(金)に千歳科学技術大学で行う予定である旨説明があった。後継委員会については, 清水委員が委員長に内諾済みとの報告があった(次期委員会の発足時期については検討中)また, 資料 IIC-111-4-2 の解散報告書案について報告があり, 内容を確認した。

※ 設置趣意書は発足の2週間前を目処に提出いただきたいとの依頼が柴田委員長よりあった。また, 下野幹事より過去の設置趣意書を参考資料として委員へ配布することとした。

### 4.2 先端制御技術とロボット技術の融合と産業応用に関する協同研究委員会 活動報告 (資料:IIC-111-4-2)

資料 IIC-111-4-2 に沿って, 田中委員より活動報告および今後の予定について報告された。2013年3月に第4回委員会を開催し, 第5回を6月に見学会と併設にて実施予定である旨説明があった。また, D部門大会2013

年8月解散予定であり、設置趣意書による8回の委員会確保のため追加で委員会を実施する必要があり、C部門との技術委員会共同開催も視野につながりを深めたいとの指摘が柴田委員長よりあった。

#### 4.3 産業応用のためのシステム最適化とベンチマーク問題(調)(資料:IIC-111-4-3)

資料 IIC-111-4-3 に沿って、3月4日に第1回委員会が開催され、第2回委員会を5月29日に実施予定である旨が報告された。また、9月6日にC部門大会の企画セッションにC部門の専門調査専門委員会との共同企画を予定している。

※ 柴田委員長より、5月末を目処に第2回委員会の活動内容を報告してほしい旨、要請があった(D部門研究調査運営委員会 資料作成のため)

#### 5. 2014年以降の合同研究会／ワークショップについて(柴田委員長)資料:IIC-111-5

資料 IIC-111-5 今後の合同研究会について柴田委員長より説明があった。

IIC-MEC 合同研究会の大規模化問題の対策として、1期・2期に分けて実施する案が提案され、2013年夏を目処に方針の大枠を決定したい旨説明があった。提案内容は、第1期を従来通り3月、第2期を4月末から5月初旬頃に実施することで、投稿者の分散化を図るものである。また、第1期はMEC担当、第2期をIIC担当と分担することで、運営の負担を軽減する効果も期待される。

本提案に関する議論において、第2期の開催時期を5月にすると特集号に間に合わない可能性がある(例年5月15日頃締切り)との意見があった。また、ワークショップ化・国際会議化についても並行して議論を進めているとの報告があり、国際会議化に関してIEEEとIEEJの合同Conference化して、3月に開催する案が提案された。

また、発展的分割を遂げたこの数年は、IICとMECとの違いやセールスポイントを明確化することが可能な時期であり、IICの今後の方針について改めて議論を活性化する必要があるとの認識で一致した。今後も継続的にオープンに議論を進めていく予定。

#### 6. その他

金子委員より7月23日に芝浦工業大学にて開催予定の産業応用フォーラム「モーションコントロールの新しい基盤技術」の開催案内があった。

次回、第112回産業計測制御技術委員会は、9月－10月に見学会と併催予定。

以上